

建設技術展等の開催報告

「次世代へ伝える建設技術」 けんせつフェア北陸in金沢2015を開催しました

けんせつフェア北陸in金沢2015実行委員会事務局

平成27年10月16日（金）と17日（土）の2日間、石川県金沢市の「石川県産業展示館（4号館）」を会場に「けんせつフェア北陸in金沢2015」を開催しました。

今回はキャッチフレーズ「次世代へ伝える建設技術」のもと、158機関から271の技術が展示され、会場には2日間で約4,000名の方々にご来場いただきました（写真—1、2）。

1. けんせつフェア北陸とは

本フェアは、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化、広範囲な技術開発の促進を図り、新技術・新工法の積極的な活用促進、建設技術を活かした地域づくりや担い手確保に繋がる広報を目的としています。主催は「北陸地方建設事業推進協議会」を母体とした官民21機関で構成する実行委員会で、平成5年から2年に1回開催してきており、今回で12回目となりました。

2. オープニングセレモニー

会場に先立ちオープニングセレモニーとして、屋外広場で開会式を行いました。

小口浩実行委員長（北陸地方整備局企画部長）



写真—1 屋内展示場全景



写真—2 屋外展示場全景

の開会宣言に続き、主催者を代表して藤山秀章北陸地方整備局長が開会挨拶を述べ、続いて国土交通省総合政策局 松永康男公共事業企画調整課長より来賓祝辞を頂きました。その後、来賓、主催者、地元公共団体等の代表者14名によるテープカットを行い、2日間にわたる「けんせつフェア北陸in金沢2015」の幕を開けました（写真—3）。



写真—3 開会式テープカット



写真—4 屋内展示実施状況

3. 出展技術

今回も多くの関係企業・団体等に参加いただいたことから、会場である石川県産業展示館でも一番規模の大きい4号館の屋内展示場全館と、屋外展示場の全てを使用して技術展示を行いました。

出展テーマを「安全・安心」「自然・文化」「連携・活力」の三つの技術分野に分類し、158機関から271の技術が展示されました。各技術分野ごとの出展技術数は表—1のとおりです。

出展者は、ブースごとに技術に関する映像紹介やパネル展示のほか、大きな建設機械などの実物の展示、実物や模型を用いての実演など、「けんせつフェア北陸in金沢2015」のサブタイトルである「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」を訪れた方々に体験していただけるよう、趣向を凝らした展示を行いました。

展示場内は学生や一般の方々、地方公共団体、

建設事業の関係者等、多くの人で賑わい、各展示ブースにおいて来場者が足を止め、熱心に説明を受けている姿が見受けられました（写真—4）。

4. 新技術プレゼンテーション

開催期間中、屋内展示場内にプレゼン会場を設けて、出展者による新技術プレゼンテーションを行いました。

このプレゼンテーションは出展者が「けんせつフェア北陸in金沢2015」に出展している技術の中から、特に広くアピールしたい技術、出展技術を理解していただくことを目的として、その特徴や効果などを発表する場となっています。

出展テーマ同様「安全・安心」「自然・文化」「連携・活力」の三つのテーマを設け行いましたが、企業・機関より予定を大幅に超える51社の応募がありました。このうち、複数の技術を希望した出展者については1社1回のプレゼンテーションと

表—1 技術分野ごとの出展技術数

出展技術（テーマ内訳）	出展技術数	うちNETIS登録技術
「安全・安心」	207	95
「自然・文化」	28	15
「連携・活力」	33	6
「安全・安心」「自然・文化」「連携・活力」	1	0
「安全・安心」「自然・文化」	0	0
「安全・安心」「連携・活力」	1	0
「自然・文化」「連携・活力」	1	0
計	271	116



写真—5 新技術プレゼンテーション

し、希望した全企業のプレゼンテーションを行うよう調整を行いました。開催両日は、技術の特徴や効果などについての発表がなされました（写真—5）。

5. その他企画

今日、建設産業では労働力や担い手の不足が問題となっています。

屋内の特設会場では、担い手確保の情報発信として建設業で働く女性の活躍をPRするとともに、女性に対して業界の意識改革を図り女子生徒・学生の建設業への入職促進へと繋げるため、「けんせつ小町座談会」として、基調講演や建設会社、建設コンサルタント、官公庁等で働く女性技術者によるパネルディスカッションを行う等、建設界の魅力を発信するイベントが多数行われました。パネルディスカッションの様子は、FMラジオで生放送されました（写真—6～8）。併せて、石川県内建設企業と就職を控えた県内学生との情報のミスマッチを解消するため、合同企業セミナーも行われました（写真—9）。

今回、参加した学生（約500名）は、大学や高校等で土木系・建築系などを専攻している方々が多いこともあり、熱心に各展示ブースを見学していました（写真—10）。

その他、屋外展示場では今話題のUAVによるデモンストレーション、降雨体験、地震体験装置の災害の疑似体験、無人化施工コーナーなど、一



写真—6 基調講演



写真—7 パネルディスカッション1



写真—8 パネルディスカッション2



写真—9 企業セミナー

般の方を中心に大勢の方が参加しました（写真—11）。

6. おわりに

今回のフェアは天候にも恵まれ、たくさんの方に来場していただき事故もなく無事に行うことができました。出展者をはじめ、開催にあたりご協力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

けんせつフェア北陸ホームページ（国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所内）

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/mijika/tecbox/938/index.html>



写真—10 説明を聞く学生



写真—11 UAVデモンストレーション